

誰もが暮らしやすいまち はんだ

～障がいのある方への配慮はみんなの暮らしやすさにつながる～

ぶらりまちあるき Vol.3



薬師寺



赤レンガ



矢勝川



瑞穂記念館



かりやど憩の家

令和7年11月 発行

編集：半田市障がい者自立支援協議会権利擁護部会

協力：半田地区介護予防・生活支援協議会（ちいさなおせわ会議）

半田中学校区多機関連携会議

この冊子について

半田市では、障がいのある方の人口が年々増加しております。また、高齢の方も増加しており、生活のしづらさを感じている方や配慮が必要な方は今後ますます増加していく見込みです。そのため、誰もが暮らしやすいまちにするために、地域で暮らす皆さんが何が必要かを考え、行動することが求められております。私たちの住んでいるまち「はんだ」を自分たちでよくしていくことが大切です。

令和4年6月に半田市内の飲食店を取り上げ、障害者差別解消法の中で求められている「合理的配慮の提供」をまとめた冊子を作成しました。具体的には誰もが利用しやすいような配慮がある飲食店の好事例を集めたもので、素敵な取組みをしている飲食店を紹介しております。

今回作成した冊子「ぶらりまちあるき」は、半田中学校区でモデル的に実施したもので、地域の方をはじめ、障がい当事者や小中大学生とともにまちを歩き、私たちの住む「はんだ」には何があって、「観光」するにはどのような合理的配慮が必要であるかを考え、まとめました。この冊子を見ていただくことで、まちの歴史や観光にふれ、「はんだ」を知り、「はんだ」らしさとは何だろうか、暮らしやすいまちだろうかを感じとってもらうきっかけになっていただければと思います。

合理的配慮は特別なことではありません。私たちは意識して普段の暮らしを営んでいないかもしれませんが、しかし、何等かの障がいや不自由さを抱え、普段の暮らしに不便さを感じている方もいます。ここの段差は誰もが移動できるだろうか、ここからだ景色は見えるだろうか、一人ひとりの気持ちに立ってまちを見ても観光の一つだと思います。

ぶらりまちあるきの冊子を手に皆さんも楽しみながら「はんだ」を歩いて、感じてみてください。また、気づいたところはぜひとも教えてほしいと思います。その一言が郷土を育み、まちを作っていきます。「見て、触れて、感じて自分のまちを好きになる。」多くの方が「はんだ」を知り、誰もがくらしやすいまちの礎となっただけのことを願っております。

半田市障がい者自立支援協議会 権利擁護部会 部会長
金森 大席（特定非営利活動法人知多地域権利擁護支援センター）



ぶらりまちあるき 目次

- 1. 障害者差別解消法とは..... P.2
- 2. 半田小学校区..... P.3
- 3. さくら小学校区..... P.7
- 4. 岩滑小学校区..... P.11
- 5. 雁宿小学校区..... P.15
- 6. 障がい種別ごとの具体的配慮.. P.19

障害者差別解消法とは

障害者差別解消法とは、障がいのある人もない人も、互いに、その人らしさを認め合いながら、共に生きる社会をつくることを目的に作られた法律です。

この法律では、「不当な差別的取り扱いの禁止」と「合理的配慮の提供」が求められています。

『不当な差別的取り扱いの禁止』

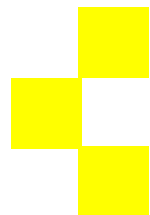
障がいのある人に対して、正当な理由なく、障がいを理由として、サービスの提供を拒否することや、サービスの提供にあたって場所や時間帯などを制限すること、障がいのない人にはつけない条件をつけることなどが禁止されます。

正当な理由があると判断した場合は、障がいのある人にその理由を説明し、理解を得るよう努めることが大切です。

『合理的配慮の提供』

障がいのある人から、生活するうえで障壁（バリア）となっているものを取り除くために何らかの対応を必要としている意思が当事者から伝えられたときに、配慮する側の負担が重すぎない範囲で対応することです。負担が重すぎる場合は、障がいのある人に、なぜ負担が重すぎるのか理由を説明し、別のやり方を提案することも含め、話し合い、理解を得るよう努めることが大切です。

障害者差別解消法の改正により、令和6年4月1日から行政機関等だけでなく、民間事業者等においても義務化されました。



半田小学校区 ぶらいまちあるき

クイズに答えながら
歩いてみよう♪

【③得月】

Q1. 得月では、何を売っているでしょう？
(1)お茶 (2)お茶の道具 (3)アイスクリーム

【④花の長文】

Q1. 切り花を長持ちさせる方法は何でしょう？
(1)温かい水をあげる (2)冷たい水をあげる
(3)毎日水を替える

Q2. 長文の野々村さんはお店だけでなく、地域の色々な場所に出かけています。どこでしょう？

(1)半田駅ロータリーのイベント
(2)商工会議所 (3)半田駅前の掃除

【①知多半田駅】

Q1. 点字ブロックは誰のためにあるでしょう？

(1)耳が聞こえない人のため
(2)目が見えない人のため
(3)足が不自由な人のため

【②マルアイ】

Q1. このお店は何年前からあるでしょう？
(1)20年 (2)40年 (3)60年

Q2. マルアイの越智さんの“元気の理由”は
おち 为什么呢？
(1)家族 (2)友だち・お客さん (3)リハビリ

スタート

雁宿ホール



マルアイ



知多半田駅

ゴール

クラシティ

とくげつ
得月



はな ちょうぶん
花の長文



知らなかった自分たちのまち、地域の方が教えてくれた素敵な場所を紹介するよ



❖ マルアイ ❖

洋服屋さん

洋服だけでなく、靴、バッグ、健康グッズなども置いています。
美と健康マルシェも毎月行われているので、お買い物だけでなく楽しむことの出来るお店です。

「若く、明るき、きれいに！」をモットーに、63年前からお店をしています。



❖ 得月 ❖

お茶屋さん

店主の空原さんのお母さんの実家である四日市にある茶畑から産地直送でお茶を仕入れています。

独自のブレンドで毎年味が変わることなく、おいしいお茶を提供されています。

お茶だけでなくお茶の道具なども販売しています。



❖ 花の長文 ❖

お花屋さん

産地や日持ちの長さなどにこだわった花が店頭にたくさん並んでいます。

自分で花を組んでも上手にできるような花も多いです。

季節ごとの花もたくさんあります。



❖ クラシカフェ（クラシティ内） ❖

クラシカフェは、聞こえない人、聞こえる人がともに働き楽しめるカフェスタンド（サイニングストア）です。
注文は、指差しオーダーとなっており、お客さんに協力をしてもらっています。

コーヒーはこだわりの自家焙煎をしたおいしいコーヒー豆を使用し、丁寧にハンドドリップしてもらえます。
他にワイナリーのぶどうジュース、りんごジュース、焼き菓子、パン、コーヒー豆、ドリップパックの販売などがあります。

まちあるき当日、子ども達は覚えてきた手話で店員さんに挨拶をしたり、店員さんから手話を教えてもらいました。



クイズ答え

①知多半田駅 Q1.(2)目が見えない人のため ②マルアイ Q1.(3)60年 Q2.(1)(2)(3)全て
③得月 Q1.(1)(2)(3)全て ④花の長文 Q1.(3)毎日水を替える Q2.(1)(2)(3)全て

いろんな人の視点でまちを歩いてみると…

みんなで知多半田駅前のことを考えました！

どんな駅前だと住みたい・遊びに行きたい？

- ・ゲームセンター
- ・スターバックス
- ・テーマパーク
- ・ゆっくり過ごせるところ
- ・服屋さん
- ・駅の周りにお店
- ・映画館
- ・車いすの方も遊べる公園
- ・花の家・お菓子の家
- ・児童センター
- ・ご飯屋さん

どんな工夫があると誰でも楽しめるかな？

誰でも・・・目が見えない人・車イスの人・赤ちゃんと一緒にの人など

- ・段差がなく室内で遊べるように
- ・休憩できる場所
- ・おおまた公園に遊具があったら良いな
- ・地面にクッション→転んでもケがしない
- ・ベビーカーや車のいすの人が通りやすいように
道路の幅を広くする
青信号の時間を長く



「まちあるき全体の意見」

良かった点

- ・普段地域で生活しているだけでは、子どもたちをはじめとする色々な人と関わる機会がないため、まちあるきを通して関わることで良かった。
- ・みんなと一緒に知多半田駅前について考えることができて良かった。

改善した方がよい点・自分たちにできること

- ・どんな人でも知多半田駅前を楽しく過ごすことが出来るように、お店や交番の入り口にある段差がないと良い。
- ・「駅前がこうなって欲しい！」と市役所の人へ伝えていくことが大切。

まちあるきに参加させていただき
ありがとうございました。

私自身も、子どもたちの視点や発見がとても勉強になりました。
これから半田の中心市街地が、
もっと誰もが過ごしやすい街となるよう、
地域の方、商店街の方、そして皆
さんと共に変えていきたいです！

半田市産業課 加藤



まちあるきをして交番や店の前の段差が多かったので、
歩道が広くなればスロープを作れるのと思いました。
初めて参加して楽しく学べました。

ジョブコラボ 利用者

当事者や地域住民の方、学生さんなど世代の違う方々の
意見を聞くことができた貴重な時間でした。活動を続け、
『誰もが暮らしやすいまち はんだ』にしたいです。

ジョブコラボ 藤田朋子



「地域をより良くするには、どのような工夫を凝らすと良いか」について、子どもたちや地域の方々と意見交換をしながら深く考えることができました。話し合いの中では、目の見えない方や、車椅子を利用する方も過ごしやすいようにスロープや点字を増やして欲しいという声が多かったです。ハロウィンということもあり、お菓子をもらう子どもたちが楽しそうにしている姿が印象的でした。



同朋大学 加藤ゼミ

私が今回のまちあるきに参加して感じたことが2つあります。

1つ目は車いすやベビーカーを使っている人たちが2階や3階へ行きたい時階段ではいけないので、エレベーターを増やしていろいろな人たちが上に行きやすいようにしてほしいです。

2つ目はJR半田駅の近くにショッピングモールを作ってほしいです。なぜなら、最近JR半田駅の近くで観光客の姿を私はあまり見ないからです。昔はたくさんの人が駅周辺に集まっていましたが今は少なくなってきているので、またたくさんの人に半田へ来てもらいたいです。そして、いろいろな人たちが楽しく安全に過ごせる街にしたいです。

半田小学校6年生 加藤 ゆい さん



クイズに答えながら
歩いてみよう

さくら小学校区 ぶらいまちあるき

みずほきねかん
瑞穂記念館

1

6

いえ
さくらの家

2

ひがしほいくえん
東保育園

3

地域の方のお宅に訪問

4

きゅうしょくせんたー
給食センター

5

【⑤学校給食センター】

Q1. 給食センターでは、何人でみんなの給食を作っているでしょうか？

Q2. 給食センターの屋上は、津波から逃げるためなら入っていいことになっています。何人まで避難することができるでしょうか？

【③東保育園】

Q1. 保育園の子どもたちは、地震がきたらまずどんな行動をするでしょうか？

【②さくらの家】

Q1. さくらの家で行っている活動はつぎのうちどれでしょう？

(1) 卓球 (2) 手芸・絵手紙 (3) グラウンドゴルフ

Q2. さくらの家は、地震や大雨の災害のとき、ひなばしよになるのでしょうか？



知らなかった自分たちのまち、地域の方が教えてくれた素敵な場所を紹介するよ

❖ さくらの家 ❖

さくらの家は、このまちの誰もが使える施設です。

いろいろな人たちがさくらの家で活動しており、地域の人たちが協力して管理しているんだよ。

子どもたちの感想等

・誰でも気楽に行け、楽しそうに過ごしていていいと思った。



❖ 東保育園 ❖

東保育園のかべには、伊勢湾台風が来たときの水の高さのしるしがあるんだよ。

しるしよりも低いところは水につかってしまったんだよ。

子どもたちの感想等

・こどもが安心して過ごせてみんな仲がよくて楽しそう。

・伊勢湾台風の水位が目で見えてわかりすぎと思った。



❖ 地域の方のお家 ❖

地域の方のお話や得意な楽器を演奏するのをみんなで聴いたよ。

子どもたちの感想等

- ・三味線が弾けてすごい。
- ・いつでも来ていいと言われて嬉しかった。
- ・いつまでも元気で過ごしていてほしい。



❖ 給食センター ❖

半田市の給食センターが新しくなりました。

市内の小・中学校の約10,000人の給食を作っているんだよ。

子どもたちの感想等

- ・公園から階段のところまでスロープがありすごいと思った。
- ・屋上に避難できる場所があり驚いた。



雨天でしたが、瑞穂記念館でみんなで地域の方の話を楽しく聞きました！

クイズ答え

- ②さくらの家 Q1. 手芸・絵手紙 Q2. ならない
 ③東保育園 Q1. 机の下でダンゴムシのポーズになる
 ⑤学校給食センター Q1. 80人 Q2. 270人

いろんな人の視点でまちを歩いてみると…

自分の視点だけでなく、子どもや障がい者・お年寄りなど、さまざまな視点で意見を出し合いました。

〇〇〇

❖ 初めて知ったことやこのまちのいいところ ❖

- ・ 瑞穂記念館は110番の家になっており、子どもが安心して登下校できる場所
- ・ 誰でも行くことができる、地域の人が集まる場所があること
- ・ 子どもたちの参加が多く、地域の人と福祉について考えられていた
- ・ 登下校の見守りをしてくれている人がいて、安心して生活できること

❖ 地震や台風するとき、すべての人が安心なまちになるにはどうしたらいいかな？ ❖

- ・ 避難できる場所が増えるといいと思う
- ・ 車椅子の方等上がれる場所が増えてほしい
- ・ 障がいの有る無しに関わらず、困っている人がいたら助けてあげたい
- ・ 緊急避難場所があると安心できる

みんなで意見を出し合いました！



まちあるき後はみんなでカレーライスを楽しみました！



今年は瑞穂記念館で室内での実施となりましたが、じっくり話を聞くことができ、参加した方も話の理解がしやすかったと思います。

三味線の演奏はなかなか子どもたちも聴く機会がないと思うのでよかったと思います。

まちあるきは2年間参加しましたが、毎年テーマを持ちながら、地域の子どもから大人までさまざま交流することができました。



令和6年度瑞穂区長
丹羽

まちあるきに3年間参加して、さくら小学校区の施設を知り地域の方との交流をすることができました。

今回のまちあるきは雨天でしたが、瑞穂記念館で実施することができてよかったと思います。

ゆめっこを利用しているこどもたちも一緒に参加でき、まちあるきで初めて知った地域のいいところをほかのこどもたちにも教えることができました。

今後も地域のいいところをこどもたちに伝えていきたいと思います。

ゆめっこ 増子

伊勢湾台風や、新しくできた給食センターの話を聞き、子どもたちも今の町の良いところや次同じことが起こった時どうすべきかを考えられていたのではないかと思います。

また、避難する上で、障害のある方も安全に避難するために子どもたち自身ができることについても考える機会になりました。

その後は、地域の方や子どもたちとカレーを食べ、様々な年代の方と交流でき、今後地域内でのコミュニケーションが活発になるのではないかと思います。地域の人が作ってくれたカレーがとても美味しく、また参加したいなと思いました。



同朋大学加藤ゼミ



岩滑小学校区 ぶらいまちあるき

クイズに答えながら
歩いてみよう♪



【①光蓮寺】

てら せきちゅう ばしょ むかし なに
Q1. お寺の石柱がある場所には昔は何があったでしょう？

しょうろうどう てらこや かそうば
(1) 鐘楼堂 (2) 寺子屋 (3) 火葬場

こうれんじ ほんどう ねん まえ せつりつ おな じき
Q2. 光蓮寺本堂（220年ほど前に設立）と同じ時期

た なん
から立っているものは何でしょう？ ※こたえは2つ

さんもん ちようずば いちよう き くり
(1) 山門 (2) 手水場 (3) 銀杏の木 (4) 庫裡

【②常福院】

むかし てら きんじょ やきゆうせんしゅ す
Q1. 昔、お寺の近所に野球選手が住んでいました。
だれ
誰でしょう？

まきはら ひろみ おおたに しょうへい
(1) イチロー (2) 槇原寛己 (3) 大谷翔平

てら にわ どうぶつ
Q2. お寺の庭にはよく動物がいます。

なに
何がいるでしょう？

てら じんじゃ しぜんさいがい つよ い
Q3. お寺や神社はある自然災害に強いと言われて
さいがい
います。どの災害でしょう？

じしん たいふう つなみ こうずい
(1) 地震 (2) 台風 (3) 津波や洪水

知らなかった自分たちのまち、地域の方が教えてくれた素敵な場所を紹介するよ



❖ 光蓮寺（こうれんじ） ❖

浄土真宗大谷派のお寺です。新美南吉の実家の渡辺家は代々、浄土真宗の門徒でしたが、手次寺（他宗でいう菩提寺）が成岩にあって遠いため、普段は近くの光蓮寺に入りすることが多く、南吉も小学生の頃にここでお経を習いました。

「百姓の足、坊さんの足」や「ごんごろ鐘」など、このお寺に関することを題材に制作したと思われる南吉作品が多数あります。



❖ 常福院（じょうふくいん） ❖

永禄年間（1558～70年）、徳川家康の叔父で岩滑城主の中山勝時によって創建された浄土宗西山派の寺院です。

境内もしくはその西側一帯が城址で、境内の大ソテツ（市指定天然記念物）は中山氏の家老が植えたといわれています。

中山氏は江戸時代初めまで領主として岩滑を治め、新美南吉の童話「ごんぎつね」にも「中山さま」として登場します。



❖ 阿弥陀寺（あみだじ） ❖

元々、女性の住職が七代続いたお寺ですが、現在は男性の住職となっています。

西山浄土宗という宗派で、常福院とは親族のような関係性です。

150～160年の歴史があります。



クイズ答え

①光蓮寺 Q1. (1)鐘楼堂 Q2. (1)山門、(2)銀杏の木

②常福院 Q1. (2)榎原寛己 Q2. たぬき、ネコ、キツネ、アライグマ、ハクビシン

Q3. (3)津波や洪水

いろいろな人の視点でまちを歩いてみると…

障がいの有無に関わらず、子どもも大人もごちゃ混ぜにグループになって話し合いをしました！

はじめて知ったことや驚いたこと

- お寺がたくさんあることを知った
- 細い道が多いけれど、車通りが多い
- 野生動物がいること
- 街灯が少ない

まちあるきで知ったことを目の見えない人や耳の聞こえない人に伝えるにはどんな工夫ができるだろう？

- ジェスチャーや紙に書いて伝える
- 図鑑や看板があるといい
- 歩きにくい所は手を繋いでサポートする

歩いた道で、地震や大雨・洪水があった時に気を付けること・自分ができることは何か？

- すぐにみんなに声をかけて協力してもらう
- 防災マップを見て、避難経路について知っておく
- スロープがある場所を知っておく
- ブロック塀に気を付ける
- 傘を使うよりもカッパを使う方が安全

「まちあるき全体の意見・感想」

よかった点

- 地域の子どもから大人まで色々な世代の人とコミュニケーションをとるいい機会になった。
- 普段あまりお寺に行く機会がないので楽しかった。

改善した方がよい点・自分たちにできること

- 歴史を伝承できる人を増やして地域を盛り上げたい。
- 小さい子やお年寄り、障がいのある人など多くの人がお祭りなどのイベントに参加できるようにしたい。



小学生の参加も多く、楽しく、一生懸命行動していた。ワークの発表において、自分から発表してくれていたのが良かったと思います。

半田一区住民

樹齢200年を超えるイチヨウやお寺の裏庭に現れるキツネやアライグマなどに驚いた。グループワークで子どもたちがしっかりした意見を話すのに感心した。

令和5年度岩滑区長 榊原

(普段から)支援活動しているがこちらからPR出来る機会となった。困った時にどこに繋がればいいのか分からない人がいるので、情報を伝えていきたいと思う。

令和6年度岩滑区長 寺尾



まちあるきを通して、様々な歴史を学び、半田市の魅力を知るきっかけになりました。ワークでは、目が見えない人や耳が聞こえない人等への伝え方や接し方を考えたり、地域生活上の問題点を多世代で意見交換したりして、様々な視点からの`自分にできること、を学ぶ良い機会となりました。また「自然災害が起きたら？」を予測しながらまちあるきをし、防災意識を高めることにもつながりました。このまちあるきへの参加は、社会福祉を学ぶ身として、私たちに大きな影響を与えた素敵な機会となりました。

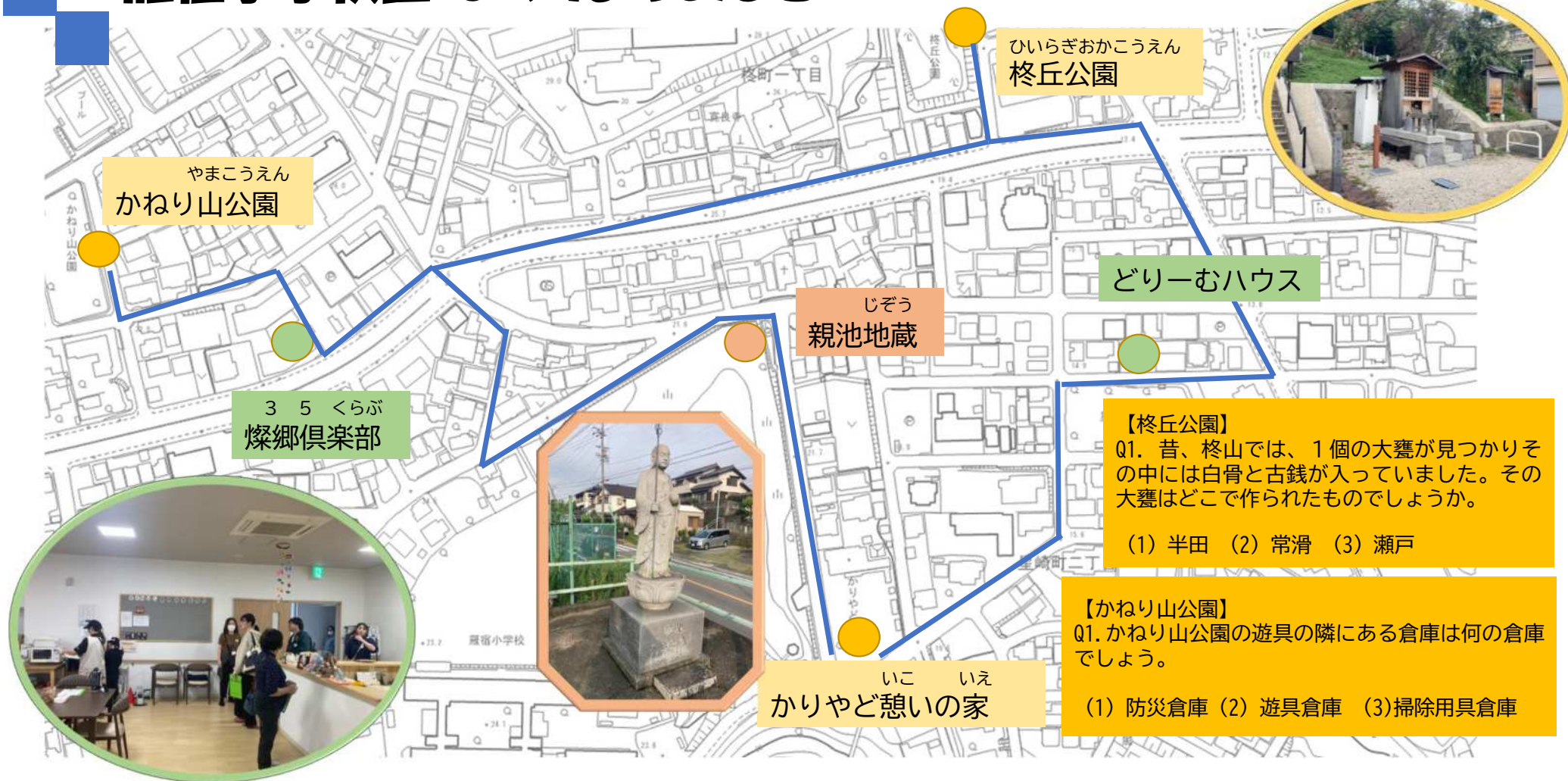
同朋大学 今井香里・市川めぐみ



お寺を三か所めぐり、岩滑の街にアライグマ、ハクビシンがいる事を知りビックリしました。参加した方から盆踊り、神社でお祭りがある事を教えてもらったりとおしゃべりも楽しかったです。話し合いでは小学生の発想、考え方に素直さと頭の柔らかさを感じました。障がいがある方に危険なところ、助けが必要なところをどのように伝え、どうしたら助けられるかを皆で話し合える事が良かったです。カレーは美味しくおかわりしてしまいました。花火も喜んでいました。参加させていただきありがとうございました。

ひまわりの家 森下

雁宿小学校区 ぶらいまちあるき



知らなかった自分たちのまち、地域の方が教えてくれた素敵な場所を紹介するよ



❖ 柊丘公園 ❖

現在の柊丘公園がある土地では、安永七年(1,778年)4月、村人が一個の大甕を掘り当てたところ中に白骨と古銭が入っていたとのこと。

調査の結果、大甕は常滑で生産されたものと推定されるとのことです。長い階段がある公園ですが、なだらかな道で上にいくこともできました。



❖ かねり山公園 ❖

かねり山公園は、昭和49年に設置された公園で、以前、この公園には、「たこ型」のすべり台がある公園として「たこ公園」の愛称で親しまれていました。

現在は、たこを連想させる赤い複合遊具が特徴的な公園になっています。また、災害時の応急避難場所としても指定されており、防災倉庫があることを確認しました。



❖ 親池 ❖

雁宿小学校横に位置する親池は、江戸時代には、新池と表記されておりましたが、いまでは、親池と書きます。

池の角には、親池地蔵がありましたが、地域の方からは、地蔵というのは災難から人を守るために置かれているということを教えていただきました。



クイズ答え
①柊丘公園 Q1. (2)常滑
②かねり山公園 Q1. (1)防災倉庫

まちをあるきながら気づいたこと

歩いてみて気づいたこと

- ・坂が多い
- ・信号が少ない
- ・柊山の事を初めて知った
- ・地蔵の意味を知れた
- ・狭い道が多い
- ・近くに住んでいても知らない祠があった
- ・子供たちに地域の方への挨拶や声掛けを促している
- ・歩道はあっても傾斜があり、ベビーカーでは難しい

こうなったらいいのに

- ・スロープを設置する
- ・車道と歩道の段差の解消
- ・公園の段差の解消
- ・歩道を舗装し直してほしい
- ・（歩道の）道幅を広げてほしい
- ・皆で助け合う
- ・車が通らない道がほしい
- ・車椅子の方でも安全に通れる平らな道がほしい
- ・歩道のない狭い道が気になった
- ・公園にトイレがあるといい

グループに分かれて
子供と大人一緒に
話をしました。





改めて歩いてみて、親池の地蔵等もそれなりの理由があってそこにあることを知ったし、車椅子の方と一緒に歩くことで、歩道に障害物があって車椅子が通れない等、気づくことができました。
高齢者施設に勤めているため、今後、地域との繋がりを大事にし、防災等も積極的にやっていきたいです。
子ども達の笑顔を見ていると安心して生活できる半田市であればいいなと思いました。

燦郷倶楽部 松本 聖

半田の知らないことがたくさん知れて、いろいろな人と交流ができて楽しかった。

どリーむハウス 参加児童

普段車で通る道でも歩行者や車いすの方にとってはとても狭かったり、車イスは段差や傾斜があるととても通るのが大変になることが分かりました。また地域に祠やお地蔵さんがこんなにありそれぞれに歴史があることを学び、とても勉強になりました。

どリーむハウス 蜷川 直宏

まちあるきに参加した事で、地域の小学生・障害のある方などに関わる事ができ、小学生ならではの視点や障害のある方の生活上の課題を知ること出来ました。

「ココロを助け合うワーク」では、ペアを作り「聴く」ワークを行いました。そこで、聴き方次第で相手に与える印象も違うということを知り、会話も楽しむ事ができました。

若い世代と昔から半田市で生活をしている方々との地域交流の場ともなっており、近年若い世代の地域ばなれが加速しているため、多世代が関わる機会に”まちあるき”がなればいいなと感じました。



同朋大学 加藤ゼミ

障がい種別ごとの具体的配慮

視覚障がい

視覚障がいとは、視覚機能に何らかの障がいがある状態をいいます。

■盲…全く見えない、または視力が限りなく「0」に近い状態です。

■弱視…視覚による日常生活が不自由な状態です。単に視力が弱いだけではなく、視野が狭かったり、明るすぎると見えづらい、暗いところでは極端に見えにくくなるなど、見え方や不便さの度合いが人によって異なります。

■視野狭窄…見える範囲が狭いため物にぶつかったり、段差につまずいたり、階段を踏み外すなどの危険性があります。

具体的配慮の例 ○点字ブロック ○声や音で伝える ○手引きによる案内

聴覚障がい

聴覚障がいとは、聞こえの程度や聞こえなくなった時期（先天性か後天性か）、受けてきた教育などにより、コミュニケーション手段は人によって異なります。聴覚に障がいのある人のすべてが手話を理解しているわけではなく、誰もが文字を書いて筆談ができるわけでもありません。

具体的配慮の例 ○手話や筆談 ○視覚情報を利用（写真等）

肢体不自由

肢体不自由とは、運動に関係する器官が損傷を受け、手足や体幹が動きにくくなるなどの状態をいいます。その状態は、障がいのある部位や程度によってさまざまです。日常生活にさほど支障を感じない人から、車いす、杖、義足、義手などの補装具を必要とする人、食事や排せつ、着替えなど日常生活動作において介助を必要とする人がいます。

具体的配慮の例 ○スロープ、手摺り ○エレベーター ○多目的トイレ ○障がい者用駐車場

知的障がい・発達障がい

知的障がいとは、知的機能の障がいが発達期（概ね 18 歳未満）に現れ、日常生活に支障が生じているため、何らかの特別な支援を必要としている方です。自閉症を伴う方も少なくありません。例えば、見たことや聞いたことを整理して理解することが不得手であったり、自分の考えを相手に伝える表現がしにくかったり、おつりのやり取りのような日常生活での計算が苦手な人がいます。

発達障がいとは、「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいその他これに類する脳機能の障がいであってその症状が通常低年齢において発現するもの」とされています。ここにあげる障がいのどれに該当するか、厳密に診断をつけることは非常に困難であると言われていますが、一般的には、

- ・目線が合わない、表情や身振りにとぼしい（社会性の障がい）
- ・言葉が出るのが遅い、言葉の「おうむ返し」、一方的に際限なく話す（コミュニケーションの障がい）
- ・こだわりが強い、ごっこ遊びが苦手、活動の興味が極端に狭い、社会規範や規則に絶対的に拘束されて融通が利かない（想像力の障がいとそれに基づく行動の障がい）
- ・感覚過敏（明るさ、におい、特定の音などに対して過剰に反応する）。などの特徴があります。

具体的配慮の例 ○視覚情報を利用（写真等） ○具体的かつ簡潔な説明 ○スケジュールの提示

精神障がい

精神障がいとは、統合失調症や気分障がい（躁うつ病、うつ病）、アルコールや薬物の依存症などの病気のために、日常生活や社会生活がしづらくなる状態のことをいいます。幻聴や被害妄想が現れることもあり、また、意欲が低下する、感情が乏しくなる、人と接することに消極的になることもあります。

具体的配慮の例 ○具体的かつ簡潔な説明 ○疲れやすいことに配慮 ○本人の意思を尊重 ○自然体で接する



誰もが暮らしやすいまち はんだ

ぶらりまちあるき編

～障がいのある方への配慮はみんなの暮らしやすさにつながる～

令和7年11月 発行

編集：半田市障がい者自立支援協議会 権利擁護部会

協力：半田地区介護予防・生活支援協議会（ちいさなおせわ会議）
半田中学校区多機関連携会議

